

残留塩素安定剤

殺藻・防藻剤

塩素安定剤



荷姿：NET15kg 段ボール（5kg×3袋）

成分

イソシアヌール酸

顆粒

特長

- 紫外線の影響でプール水中の有効塩素が急激に分解するのを防ぎ、塩素を安定化させ持続性を向上させます。
- 塩素剤を節減でき維持管理が容易に行えます。
- 有機系塩素剤のほか、次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸カルシウムをお使いの場合でも使用できます。

使用方法

- 全換水時に集水口を避けて標準使用量を均一に散布してください。
- 注水開始後、プール水深が30cm程度に達したときに散布すると溶解が早くなり作業が簡単です。

標準使用量

プール水量 (m ³)	使用量 (kg)
100	3
200	6
300	9
400	12
500	15

注意・警告事項

- ペースフィーダーは絶対に使用しないでください。

アルジカット®



荷姿：NET10kg 段ボール（1kg×10袋）

成分

ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム

速溶性顆粒

特長

- 薬剤投入後、速やかに溶解し、殺藻・防藻効果を発揮します。
- シーズン中の藻の殺藻・防藻、シーズン前の清掃に使用すると効果的です。

使用方法

- 藻の発生予防
プール使用期間中、週1回(特に降雨のときはその都度) 遊泳終了後に、プール水100m³に対しアルジカット500～600gを投入してください。
- 殺藻
藻が発生した場合は遊泳を中止し、ろ過機を停止した後、プール水100m³に対しアルジカット約2kgを投入してください。翌日にろ過機を通常運転してください。この場合、クラリファイヤーを併用すると一層効果的です。
- プールの清掃
ポリバケツを使用し、水10ℓに対し、アルジカットを30～50gの割合で溶解し、ブラッシングしてください。尚、プール清掃の5～6日前にプール水100m³に対し3～4kgを投入した後、清掃時にブラッシングすると藻の汚れが落ち易く清掃が簡単になります。

アルジサイド



荷姿：NET10kg（キュービテナー）
NET10kg段ボール（1kg×10本）

成分

カチオン系ポリマー

茶褐色透明液体

特長

- 藻類、バクテリア、カビ等の繁殖を長期に亘り抑制します。
- 塩素剤と異なり紫外線の影響を受けません。
- プールの塗装や材質を傷める心配は必要ありません。

使用方法

- プールのシーズン終了後、標準使用量を投入してください。1回の投入で2～8ヶ月の間効果が持続しますので、翌シーズンの清掃作業が簡単になります。

標準使用量

プール水量 (m ³)	使用量 (kg)
100	3～4
200	6～8
300	9～12
400	12～16
500	15～20

クラリファイヤー™



荷姿：NET10kg（キュービテナー）
NET10kg段ボール（1kg×10本）

成分

カチオン系ポリマー

淡黄色透明液体

特長

- プール水の濁りや色を凝集して、ろ過機で除去し易くします。

使用方法

- 10～50倍程度に希釈して、均一になるようにプールに散布するか、定量注入ポンプで希釈液をろ過機の出口に注入してください。注入後はろ過機を一夜連続運転してください。

標準使用量

プール水量 (m ³)	濁りが多い場合 (g)
100	100～200
200	200～400
300	300～600
400	400～800
500	500～1000

- 濁りが少ない場合は、濁りが多い場合の約半分を目安としてください。

pH調整剤

pH調整剤

タキペーパープラス®

タキペーパーマイナス®



荷姿：NET15kg段ボール（5kg×3袋）

荷姿：NET15kg段ボール（5kg×3袋）

成分

炭酸ナトリウム

粉末

成分

重硫酸ナトリウム

フレーク状

使用方法

- プール水が酸性になった場合に使用してください。
- プールサイドから、できるだけ均一になるように直接、プールに散布してください。
- あらかじめポリバケツで溶解し散布すると作業が簡単です。

使用方法

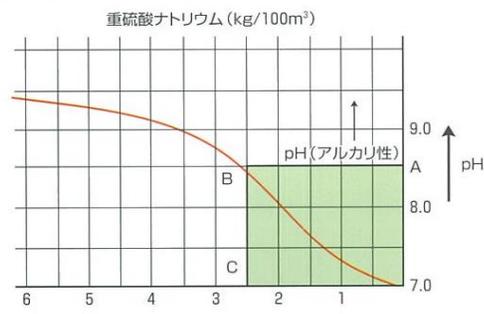
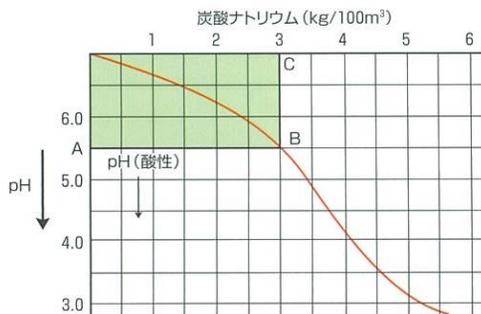
- プール水がアルカリ性になった場合に使用してください。
- プールサイドから、できるだけ均一になるように直接、プールに散布してください。
- あらかじめポリバケツで溶解し散布すると作業が簡単です。

標準使用量

標準使用量

プール水のpHと調整剤の添加量（プール水100m³当たり）

プール水のpHと調整剤の添加量（プール水100m³当たり）



用例 400m³プールでpH=5.5の場合必要な調整剤の量は、
 (1) グラフの縦軸より5.5を求めます。(A点)
 (2) Aより水平に右へ延長し曲線とぶつきます。(B点)
 (3) Bより垂直に上げ横軸とぶつかった点(C)の目盛を読むと3と出ます。
 必要な量は3×400/100=12kg

用例 400m³プールでpH=8.5の場合必要な調整剤の量は、
 (1) グラフの縦軸より8.5を求めます。(A点)
 (2) Aより水平に左へ延長し曲線とぶつきます。(B点)
 (3) Bより垂直に降ろし横軸とぶつかった点(C)の目盛を読むと2.6と出ます。
 必要な量は2.6×400/100=10.4kg

注意・警告事項

- ペースサンや他の薬剤との混合使用は絶対にしないでください。
- ペースフィーダーは絶対に使用しないでください。
- 目に入った場合、水で数分間洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

注意・警告事項

- ペースサンや他の薬剤との混合使用は絶対にしないでください。
- ペースフィーダーは絶対に使用しないでください。

塩素中和剤

珪藻土ろ過補助剤 (pH低下防止剤配合)

塩素中和剤



荷姿：NET5kg段ボール (1kg×5袋)

成分

チオ硫酸ナトリウム

粗粒剤

特長

●高濃度の残留塩素を含むプール水を放流する場合やプール本体の残留塩素が異常に高い場合に残留塩素を中和します。

使用方法

- 塩素中和剤を投入する前に処理水の残留塩素濃度を測定して、測定結果に応じて投入量を決めてください。
- 塩素中和剤をあらかじめポリバケツで溶解し、均一になるように散布してください。

標準使用量

水量	残留塩素濃度	50ppm	75ppm	100ppm
0.5m ³		25g	37g	50g
1.0m ³		50g	75g	100g
1.5m ³		75g	110g	150g

プール水100m³当たりの残留塩素濃度を1ppm下げるのに必要な塩素安定剤は100gです。

$$100\text{m}^3 \times 1\text{ppm} = 100\text{g}$$

プール水 残留塩素 塩素安定剤量

注意・警告事項

- ペースサンや他の薬剤との混合使用は絶対にしないでください。
- ペースフィーダーは絶対に使用しないでください。

タキプールスーパー[®]



荷姿：NET20kg (三層クラフト紙袋)

成分

珪藻土

粉末

特長

- 天然の無機成分(pH低下防止剤)を配合しておりますので、プール水pHを中性に保つことができます。
- 無機成分は必要以上に溶解しませんので、pHがアルカリ性になることはありません。
- ろ過性能は一般の珪藻土と変わりません。

使用方法

- 一般の珪藻土と同じ要領でお使いください。
- 標準使用量は、ろ過面積1m²に対して0.5~1.0kgです。